

パンジー・ビオラ について



花色、品種が大変豊富

■パンジー・ビオラのプロフィール

学名：Viola

科名：スミレ科 分類：一年草

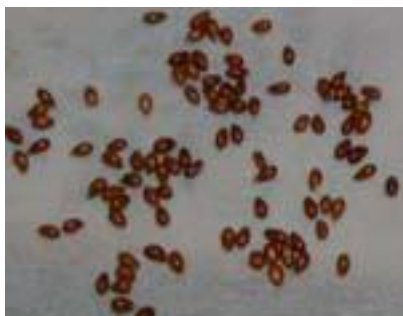
パンジーとビオラは、園芸上は区別されているものの、学術的には同じもので、明確な違いはありません。一般的には、花の大きい品種を「パンジー」、花の小さい品種を「ビオラ」と呼んでいます。(花径が約5cm以上のものは「パンジー」、約5cm以下のものは「ビオラ」とされていますが、明確な区別はなし)

パンジーは、19世紀に北欧で野生のサンシクスミレと他品種を交配して作られたもので、その後、次々と新しい園芸品種が作られていき、一般大衆に広まっていきました。ビオラはパンジーの小輪品種であり、パンジーの草丈と花径を小さくして、病気に強くし、花付きを良くした改良種です。

■パンジー・ビオラの育て方

●タネまきについて

パンジー、ビオラの発芽地温は20℃前後なので、タネをまくことができるのは8月下旬から10月です。8月下旬から9月初旬のうちにまくと、秋の早いうちから開花し、花を長く楽しめますが、暑さ対策が必要です。9月中旬～下旬がタネまきの最適期です。一斉に発芽し、病気がほとんど発生しません。年末から開花し、充実した状態で、春に最高の花を咲かせることができます。まく前にタネを袋ごと1カ月ぐらい冷蔵庫で保管しておく、発芽がそろいやすくなります。



パンジー・ビオラの種

●タネまき後の育て方

本葉が出始めたら、風通しのよい日なたで管理します。水の与えすぎに注意して、薄めの液体肥料を1週間に1回施しましょう。タネまき後1カ月程度で本葉2~4枚になったら、ポリポットに移植して苗を育てます。苗を抜いてみて、根鉢の土が崩れない程度に根が回ったら定植の適期です。

●＜参考＞プラグ苗での育苗



パンジーやビオラなど多くの株数を使う花で種まきが難しい品種はプロが種まきして芽を出した状態の『プラグ苗』を購入し、それをポット上げして苗を育てる、というのもひとつの方法です。

